

## 今後の課題

項目	内容
ごみ排出量	ごみ総排出量は減少しているが、処理・処分を必要とするごみは横ばいで、減少しているのは集団回収の資源（主に紙類）です。
	生活系ごみは減少傾向にありますが、事業系ごみは横ばいです。
	資源化率は年々減少しており、目標値を大きく下回っています。なお、民間回収で集められた資源（平成 29 年度実績：約 1,200 トン・未回答業者あり）を加えると、概ね目標は達成されています。
ごみ処理	全市でプラスチック製容器包装の分別収集が開始されましたが、収集回数が穂積地区と巢南地区で統一されていません。
	収集品目は統一されていますが、現計画では、可燃ごみの収集回収は週 3 回から週 2 回、資源ごみの収集回収は月 1 回から月 2 回であるが、この収集回数は妥当であるか。
アンケート	<b>問 3</b> ごみステーションでごみ出しのルールが「全く守られていない」の回答が 2 件ありました。集合住宅でのごみ出しルールの周知が課題です。
	<b>問 5</b> ごみステーションが遠い、狭くておけないとの不満が、40 件近くあります。収集戸数が多すぎるステーションがあります。
	<b>問 6</b> 穂積地区のプラスチック製容器包装の収集回数に関する不満が高くなっています。
	<b>問 8</b> ごみ出しで困ったことのある人が 4 割以上あり、中でも粗大ごみの出し方が約 25% あります。持ち込みをできる日や戸別収集の依頼ができる日時について検討が必要です。
	<b>問 12</b> 金属類を無料回収業者に引き渡している人が約 2 割います。
	<b>問 12</b> 古紙を無料回収に出している人が多くなっており、市の把握できない資源の量が増えています。
	<b>問 12</b> プラスチック製容器包装を可燃ごみに出している人が約 3 割います。
	<b>問 16</b> 美来の森、巢南集積場、中央エコセンターそれぞれについて、地域による認知度の差が出ています。また、中央エコセンターの認知度が低く、積極的な広報の検討が必要です。